

第83回 火力専門委員会 溶接分科会 議事録

- I. 日 時：2019年4月15日（月） 13時30分～16時30分
II. 場 所：東京大学 工学部 三号館 424 会議室
III. 出席者：青山(東大)、鈴木(MHPS)、倉富(東電FP)、水谷(東工大)、
長谷川(発電技検)、飯島(日溶協)、逢澤(MHPS)、幅野(IHI)、堀(関電)
欠 席：高内(神戸製鋼)、飯田(東電HD)
代理出席：なし
オブザーバー：小林(JERA：新任候補)、岩井(東芝：新任候補)
事務局：花井

IV. 配付資料

- 83-1 第82回溶接分科会議事録(案)
- 83-2 溶接分科会委員名簿
- 83-3 第87回火力専門委員会報告
- 83-4 第89回発電設備規格委員会議事次第
- 83-5 火力専門委員会書面投票 No.81 (第Ⅵ章 非破壊検査)
- 83-7 用語集(映写)・・・今回はなし
- 83-8 火力専門委員会書面投票 No.81(第Ⅵ章非破壊検査の規格委員会書面投票 No.399
意見対応による修正案)の意見対応
- 83-9 規格委員会書面投票 No.422 (第Ⅶ章 溶接施工法・溶接技量の改訂提案)の
意見対応

V. 議事

1. 前回議事録確認 [資料83-1]
前回議事録(案)について確認を行い、議事録(案)が承認された。
2. 分科会委員・役員の承認 [資料83-2]
原田委員、大橋委員の退任が報告された。新任委員候補として岩井氏(東芝エネルギーシステムズ)、小林氏(中部電力→JERA)が、再任委員候補として青山主査、幅野委員と長谷川委員を出席委員全員の賛成により次回火力専門委員会へ推薦することが承認された。
3. 報告事項 [資料82-3]
 - (1)火力専門委員会報告
3月1日開催の第87回火力専門委員会の主要項目が報告された。
 - 火力専門委員会委員、各分科会委員の承認
 - 第82回溶接分科会(2/14)の報告
 - ・規格委員会書面投票 No.399 の意見対応を反映した新旧対比表修正案確認。

- ・ 第Ⅶ章溶接施工法・溶接技量の書面投票 No.422 の意見対応

○ 審議結果報告

- ・ 規格委員会書面投票 No.410 (第Ⅱ章 材料改訂提案) の意見対応状況の説明があり、対応が完了していない No.27 について再々対応案について説明があった。意見対応完了後に、意見対応を反映の修正案を6月に開催される火力専門委員会と規格委員会において、編集上の修正又は軽微な技術的な修正として承認を得る予定。
- ・ 火力専門委員会書面投票 No.80 (第Ⅲ章 ボイラの火専書面投票 No.76 の意見対応による修正案) の意見対応による修正 『編集上の修正、または軽微な技術的な修正』であること、及び修正内容が妥当であることが出席委員全員で確認された。3月20日開催の規格委員会に第Ⅲ章ボイラの改訂提案を行う。
- ・ 規格委員会書面投票 No.399 (第Ⅵ章 非破壊検査 改訂提案) の書面等投票意見対応反映の修正案に対して、火力専門委員会の書面投票を実施することが、出席委員全員の賛成により承認された。書面等で承認の後、規格委員会にて書面投票を提案予定。
- ・ 次回、規格委員会(3月20日)に提案予定の委員会資料の取扱(内規)について説明があった。当初は原子力専門委員会のみを対象であったが、規格委員会での審議により、規格委員会と各専門委員会を対象とすることに変更となる。火力専門委員会の意見は、規格委員会委員である火専委員長が投票時に意見表明できる。

(2) 規格委員会報告

[資料 83-4]

3月20日開催の第89回発電用設備規格委員会の主要項目が報告された。

- ・ 火力専門委員会(3/1開催)報告
- ・ 発電用火力設備規格詳細規定(201X年版)Ⅲ章 ボイラ の改訂提案、投票実施提案

(3) 火力専門委員会書面投票 No.81(3/4~4/4)結果報告

[資料 83-5]

火力専門委員会書面投票: No.81 「(第Ⅵ章 非破壊検査の規格委員会書面投票 No.399 の意見対応による修正案)」の承認の結果が報告された。投票が全委員の4/5以上、賛成票が投票数の2/3以上あり、反対票がなかったため可決となった。

4. 審議事項

(1) 用語集の確認

新たな追記・変更箇所はなし。

(2) 火力専門委員会書面投票No.81の書面投票(第Ⅵ章改訂)の意見対応と修正案 [資料83-7]

火力専門委員会書面投票No.81 「発電用火力設備規格 第Ⅵ章 非破壊検査の規格委員会書面投票No.399の意見対応による修正案」の承認(第Ⅵ章非破壊検査の規格委員会意見

対応による修正)の意見対応修正案について鈴木副主査から、3月29日に意見対応案が了解され意見対応が完了したことが報告された。

今後、各担当委員が5月31日(金)AMまでに、完了した意見対応案を反映して新旧対比表を見直しCSキャビネットの所定のフォルダ(以下に記載)に保存する。今まで同様、意見対応を反映した修正箇所は緑字・下線とし、該当する意見No.を吹き出し等で緑字にて記載する。最終的にはすべて赤色になるが今回は2回目となるため前回と同様になるのを防ぐ。

溶接分科会/05 201X年版提案資料/第Ⅶ章/02_新旧対比表

6月3日開催の火力専門委員会にて、編集上の修正または軽微な技術的修正として承認を得た後に6月19日開催の規格委員会で2回目の書面投票の実施を提案する予定。

(3) 規格委員会書面投票 No.422(第Ⅶ章 溶接施工法・溶接技量)の意見対応 [資料 83-8]

各担当委員が作成した規格委員会書面投票 No.422(第Ⅶ章 溶接施工法・溶接技量の改訂提案)の意見対応について、前回からの変更確認を行った。鈴木副主査のチェックの後に火力専門委員会三役確認後に意見者に回答する。

なお、Ⅶ章の今後に関しては、規格委員会書面投票のコメントによる修正が多いため軽微とは言えない。意見対応が6月3日の火力専門委員会までに間に合うようであれば、火力専門委員会の書面投票(2回目)の提案を行うことになる。規格委員会は9月開催の回で諮る見通しとなる。コメント量が多ければ9月の火力専門委員会で書面投票を行うことになる。

次回コメントの量によるが、少なければメールで、多ければ次回の分科会で検討することになる。

主な、
確認事項は以下のとおり。

○意見 No.26(2)

- ・認定試験→認証 語順の変更

○意見 No.34

- ・「場合」を追加

○意見 No.36(2)

- ・バタリングされた

○意見 No.41

- ・「て」と「用」を追加

○意見 No.64

- amplitude の日本語訳に関しては、「温度」は適切ではないが、「出力」よりも「電流」の方が良いのではないかと。また、分科会用の意見はそのまま対応案に組み入れないと真意が伝わらない。

→回答としては日本語訳は「電流」とする。

○意見 No.69(2)

- P 番号の一部を構成→P 番号のサブセットを構成 に変更。サブセットは適切な日本語が見つからない。

○意見 No.76,78

- 「反映」という言葉を追加

VI. 次回開催予定

- 日時：2019 年7月10日（水） 13 時 30 分～17 時
- 場所：東京大学工学部（本郷）

以 上